

路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	自由が丘 鳥居のある路地
所在地	目黒区自由が丘 1-26

【推薦する理由（路地のよいところ）】

東急自由が丘駅 北口を出ると右手に自由が丘デパートがあり、その横を走る一方通行の道を渡るとお茶の山本山が見える。その角から路地が走っていて、何気なくのぞいてみると赤い鳥居が目に入ってきた。この南北の路地の中ほどに、東西に走る路地があり、総延長は 200 メートルほどであろうか。

豊川稲荷大明神と鳥居に書かれているが神社が見当たらない。昭和 10 年頃、自由が丘は街の発展に伴い縁日の開催を決め、商売繁盛の豊川稲荷が招かれた。毎月の縁日には駅前付近に露天が並び、昭和 33 年年頃までは続いていたが、交通量の増加に伴い中止となった。小さな神社は数年前まであったが移転して、今は赤い鳥居だけがある路地となった。

【写真添付】



路地	面積	約 h a	路地の延長	約 200 m
のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	自由が丘は東急東横線が開通するまでは竹藪でしたが、鉄道開通後は急速に発展し、文化人や芸能人が高級住宅を構えた。駅前は、はじめ 20 軒ほどの商店街があるのみであったが、第二次世界大戦後の復興にあたって駅前広場を設置し、1956 年（昭和 31 年）には 537 軒もの店が軒を並べるようになった。1970 年頃、現在の町の形がほぼ整ったが、中心地を離れると住宅街には木が多く、また、少し離れた熊野神社に竹やぶの一部が残っている。赤い鳥居は、昔の名残なのかもしれない。		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。